

平成31年度 府立久美浜高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>本校の歴史と伝統を踏まえ、<b>校訓「意欲、克己、創造」</b>の精神を培い、社会に貢献できる人材の育成を目標とする。</p> <p>1 総合学科の特色を生かし、社会で求められる力を育成する。</p> <p>2 地域の将来を担う若者力を育成する。</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 久美高研究発表会「寄せN.A.B.E.」を開催して、総合学科としての本校の特徴的な取組を発表し、成果と課題について、校内だけでなく外部の教育関係者とも共有することができた。</p> <p>(2) 「森林・林業交流研究発表会」、「京都フロンティア校研究成果発表会」など、地域貢献・地域創生に関わる取組を校外で発表する機会が増え、課題解決型学習や表現力を育成する取組を推進することができた。</p> <p>(3) 「地域で学ぶ」こと、「地域を学ぶ」ことをとおして、キャリア教育の充実と社会で求められる力の育成を図ることができた。</p> <p>(4) 2020年度からの学舎制スタートに向けて、定期的に校内会議や網野高等学校との連携会議を重ね、準備を進めることができた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 家庭学習時間が不足している。</p> <p>(2) 規範意識を醸成し、健全な生活態度を育成するための生徒指導体制の確立が必要である。</p> <p>(3) 部活動加入率・ボランティア活動への参加率が低く、自己の可能性を広げる機会が得られていない。</p> <p>(4) 学舎制や学科改編に向けて、教職員の準備組織を再構築し、全員参画の取組を検討する。</p>	<p>1 学習指導の充実</p> <p>(1) 家庭学習習慣を確立させ、希望進路実現につながる学力を身に付けさせる。</p> <p>(2) 探究活動をとおして、協働型課題解決能力・表現力を育成する。</p> <p>2 社会で求められる力の育成</p> <p>(1) 全教職員が共通認識の下で一貫性をもって指導し、規範意識の醸成と健全な生活態度の育成を図る。</p> <p>(2) 部活動・ボランティア活動等への積極的な参加を促し、自己の可能性に挑戦する姿勢を養う。</p> <p>3 学舎制スタートに向けた準備の推進</p> <p>(1) 全教職員が学校づくりに参画し、組織的に準備を進める。</p> <p>(2) 遠隔教育システムを活用し、網野高等学校と連携した取組を実施する。</p> <p>(3) 効果的な広報活動により、本校に対する中学生並びに地域住民の理解を促進し、積極的な生徒募集に努める。</p>

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価		成果と課題
組織運営	学舎制発足に向けての準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内定例班長会議を実施する。【週1回以上】</li> <li>・全員態勢で組織的に準備を進める。</li> <li>【年間3回以上の研修会の実施・学舎制検討会議だよりを月1回以上発行】</li> <li>・網野高校との連携をより強化し、農商連携の取組を進め、遠隔教育システムを用いた授業を研究する。</li> <li>【農商連携の会議・取組10回以上】</li> </ul>			
	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動を充実させ、保護者、中学生へ教育内容の周知を図り、本校を志望する生徒を前年度よりも増加させる。</li> <li>【各分掌・教科・部活動で月1回以上ホームページを更新】</li> <li>【農業クラブ活動や農業科の実習のほぼ全てをホームページに掲載】</li> </ul>			
	安心・安全・快適な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な安全点検の実施により、危険箇所を早期に発見し修繕を行う。</li> <li>・校内の整理整頓により、快適な教育環境の整備を図る。</li> <li>・光熱水費等の節減により、学校運営費の予算を確保する。</li> <li>【学校評価アンケートでの教育環境満足度75%以上】</li> </ul>			
	教職員の働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の精選等により、教職員の多忙感や負担感を減少させる。【原則午後8時までの退勤80%以上】</li> </ul>			
家庭・地域との連携	P T A 活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部役員・学級委員と連携して各種行事を活性化させるとともに参加者の増加を図る。</li> <li>【年間来校回数5回以上の保護者50人以上】</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部役員と協力して全国高等学校P T A 連合会大会の運営にあたる。</li> </ul>			
	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な対応と連絡によって保護者との信頼関係を築き、情報交換や生徒理解に努める。</li> </ul>			
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業社会と人間」を通じて、地域とつながり、学び、考える。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農家（本校OB）や農林行政機関、J A、大学等との連携を密にし、教育効果を上げるとともに地域に貢献する活動を行う。【年間15回以上】</li> <li>・地域の福祉施設・機関と連携した活動を計画・実施する。【年間5回以上】</li> </ul>					

学習指導	家庭学習習慣の確立と学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科ごとに家庭学習習慣の確立に向けた方策を講じ、その成果を検証して、全教職員で共有する。</li> <li>【定期考査前の家庭学習時間1日平均120分以上の生徒の割合50%以上】</li> </ul>			
	探究活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」の他、各教科で具体的な探究活動を計画し実施する。また、校内発表会に向けて十分な準備を行う。</li> <li>読書・学習・情報センターとして、学校図書館を積極的に活用する。</li> <li>【校内発表会事後アンケートでの肯定的な評価80%以上】</li> </ul>			
生徒指導	いじめや問題行動の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の生徒の状況をしっかりと観察し、毎週1回アンケート調査を実施して、問題行動の早期発見、早期対応に努める。</li> </ul>			
	自立・自律した生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>爽やかな身だしなみ、元気な挨拶、時間厳守、整理整頓の指導に力を入れる。【各学期に身だしなみ改善強化週間実施】</li> </ul>			
	生徒の主体的な取組の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生全員の部活動仮入部を実施するとともに、本入部する生徒の増加に努める。【全校生徒の部活動加入率70%】</li> <li>ボランティア活動への積極的な参加を促す。</li> <li>【参加生徒の満足度80%以上】</li> </ul>			
進路指導	希望進路実現に向けての個別指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談の充実により、自己理解の深化と進路意識の高揚を図るとともに、関係教員が連携し適切な指導を行う。</li> <li>【2・3年生との全員面談の実施】【希望進路実現率90%以上】</li> </ul>			
	キャリア教育を念頭に置いた計画的な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」「LHR」における計画的・組織的な指導により、キャリア教育の充実を図る。</li> <li>生産科学系列、福祉系列の生徒の関連分野への就職・進学を支援する。</li> </ul>			
健康安全指導	健康で安全な生活を営むための実践的能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健室から健康情報を発信し、自ら健康管理できる生徒を育成する。【保健だよりの月1回発行】</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>食育を推進し、朝食を摂る習慣や食品の成分を考えて食事を選択できる力を身に付けさせる。【食育キャンペーン実施】</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「時を守り、場を清め、礼を正す」を合言葉に、美化・清掃活動の指導を行う。</li> <li>用具や機械の正しく安全な使用方法を指導する。</li> </ul>			
	教育相談・特別支援に関する情報交流並びに、教育相談会議の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の状況について、教員間の情報交換の機会を増やし、スクールカウンセラー及び専門機関と連携した教育相談・特別支援を進める。【教育相談会議の定例開催】</li> </ul>			
人権教育	人権教育の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で人権学習に取り組む。</li> <li>基本的人権を侵害する行為に対し、全教職員が毅然とした態度で指導し、すべての生徒が安心して学校生活を送れるようにする。【教職員研修の実施】</li> </ul>			
	人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>「LHR」「総合的な学習の時間」や学校行事などを活用して計画的な指導を行うとともに、日々の学校生活を通じて、他者への思いやりの意識を育む。</li> </ul>			

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に向 けた改善の 方 向 性	
-------------------------	--